

第11回入学式 式辞

木々の芽は膨らみ、さまざまな生き物の息吹とともに春の香りがより一層あたりに満ち溢れだす良き日に大阪府教育庁管理主事(若林 武)様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席賜り心より感謝いたします。ここに大阪府立りんくう翔南高等学校 第11回入学式を挙行できますことを高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました(235名)の新入生のみなさん、またご臨席いただきました保護者のみなさまはじめ関係者の皆様、ご入学おめでとうございます。豊かな才能を備え、未来への可能性と活力溢れる新入生を本校に迎えることができました。新しい出会いは人生の喜びであり、同時に大きな責任を感じる瞬間でもあります。

さて新入生のみなさん、毎年、桜の開花とともに多くの人が新しい年度を感じ希望に胸膨らませ、新たな決意を我が心に誓います。また、みなさんの入学とともに、新たな元号で日本社会の新時代が幕を開けました。新たな決意をもって高校生活を歩み出してください。同時に、今日のこの日を迎えられるのは、みなさんの努力は言うまでもなく、みなさんを慈しみ育ててこられた、ご家族をはじめ、小中学校の先生方や、みなさんにかかわりのある多くの方がたの愛情のおかげであること、又、これからも周囲の支えがあり自分があることなどを心に留め、周囲への感謝の気持ちを忘れないようにしてください。みなさんを支える多くの方々の願いは一つです。当然我々教職員も今日からその一員です。その願いは、【みなさんが人生を幸せに生き抜くこと】です。そのため高等学校では義務教育段階の学びを基礎として主体的・対話的・深い学びを提供し、生きる力を育みます。

たとえば、国語や英語では総合的な言語能力を育みます。この力は知識を共有するためのコミュニケーションツールとしても重要です。数学や物理、情報は世の中の仕組みを分析・解明するための基礎知識を与えてくれます。化学や生物は環境や生命体の変化を理解するために、また学術研究を通じた知識を創出します。地理・歴史・公民での各分野は人間行動とその集合体として組織や社会が繰り広げる政治や力学の変容を知るために大切なものです。美術や音楽、書道は教養や人格の幅を広め、体育や家庭科での学びは心身ともに逞しく健やかな生活をもたらしてくれます。他、総合的な探究の時間・LHR・学校行事・クラブ活動・ボランティア活動など、様々な学びにより他者との協力や協調、尊敬や自制を経験することが人格の形成に大きな影響を与えてくれるはずです。希望と喜びに満ちた皆さんにお話ししたいことはたくさんありますが【門出】の言葉として特に三つだけお話させていただきます。

一つ目として「心を込めた挨拶をしてください」人は一人では生きてゆけません。支え、支えられ社会の中で生きています。挨拶を交わす事、これは「ここに私はいますよ」「あなたもここにいるんですね」「なにかあったら話してね」などという心のやりとりであり、シンプルではありますが共同体をつくるための大切な要件です。心を込めた挨拶を交わしてください。

二つ目として「授業を軸とした様々な学びを大切に」にしてください。世の中は価値観の変化により伝統的に受け継がれてきたシンプルな社会からライフスタイルの幅が拡大した多様な社会へと変わっています。多様な社会では答えは一つではありません。経済や雇用、生活環境や安全、教育、医療、福祉、性の捉え方、そして家族のありかたなど多種多様な局面で新しい発想が求められます。そこでみなさんには本校での様々な学びを通して、グローバルな視点で現状を分析・観察し、課題

を発見し、その最適な解決策を見出すことのできる確かな力を身につけていただきたいのです。

三つ目は「他者への思いやり」です。自分を大切にするように、他者も大切にしてください。グローバル社会で求められる力に、多様な文化に対する理解と尊厳の精神や、変化に富む社会集団における交流能力などがあります。様々な個性や価値観をもった人々によって構成されているこの社会において人間関係の潤滑油となっているのは【思いやり】です。自尊感情の育成、多様な個性を理解できる教育活動をすすめ、全員がいじめや差別など嫌な思いをすることなく共に明るく生き活きと生活できることを願い、みなさんに大きな期待を託します。以上3点深く心に刻み、輝く未来に向かってともに歩みだしましょう。

保護者のみなさまにもお願いがございます。愛を込められた時間は無駄にはなりません。お子様は見事に成長されました。みんな世界一です。この大切なお子様を本日よりお預かりいたします。教職員一同すべての価値判断を子ども達のために置き、「21世紀を力強く生き抜く強くて思いやりのある人間」に育てあげるよう全力で臨みます。どうか本校の指導方針に関しましてご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。また、特に高校生というのは「疾風怒濤の時代」とも呼ばれ内面で深く考え、激しく思い悩む年齢でもあります。お子様の自立のためこれまでより距離を置いていただきつつ、日々、コミュニケーションを確実にとっていただき、世界一大切なお子様に関して理解を深めていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

結びにあたり、今日から始まります新入生の皆さんの高校生活が、生涯を通じて交わりを深められる、最良の友・最良の師との出会いがあることなど、豊かで実り多いものであることを祈念いたしまして、式辞といたします。

平成31年4月8日

大阪府立りんくう翔南高等学校長 藤田 繁也